

# 赤潮予報 H30-3 号

平成30年11月6日  
水産試験場漁場環境研究部

## 1 伊勢湾（調査日：11月5日）

### （1）現況

赤潮は確認されませんでした。しかし、海面の着色は認められないものの、R16で珪藻類の細胞密度が高くなっています。

表層のクロロフィルaの平均は7.4 $\mu\text{g/L}$ で、平年並（過去5年平均、以下同様）でした。

表層の平均水温は20.1 $^{\circ}\text{C}$ と平年を上回り、0.3 $^{\circ}\text{C}$ 高くなりました。

表層の栄養塩類の平均は前回から横ばいで窒素、リンともに平年を下回りました。

### （2）予測（予測期間：11月上旬～中旬）

〔赤潮〕赤潮が発生する可能性は低いでしょう。

〔栄養塩〕低い水準で横ばいでしょう。

プランクトンが非常に少なくなっているため、赤潮が発生する可能性は低いと考えられます。しかし、R16では珪藻類が多く、赤潮には至らないもののしばらくはこの状態が継続すると考えられます。

気象庁によれば、予測期間中に雨が降る予報ですが、表底層ともに栄養塩が少ないことから栄養塩が著しく増加することはないと考えられます。

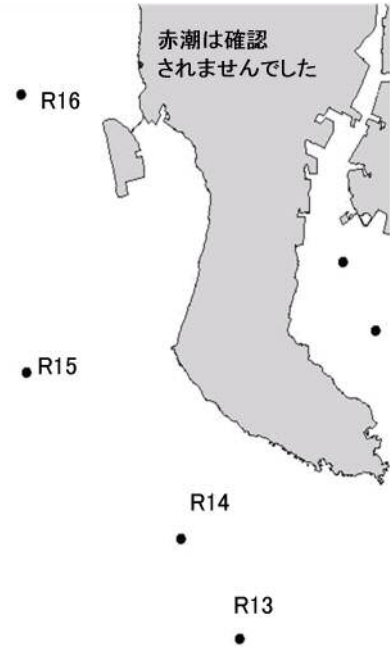


図1 調査点及び赤潮発生海域

表1 平成30年11月5日赤潮調査結果（伊勢湾）

	採水層	水温	塩分	アンモニア	亜硝酸	硝酸	三態窒素	リン酸態リン	クロロフィルa	
		$^{\circ}\text{C}$		$\mu\text{g/L}$	$\mu\text{g/L}$	$\mu\text{g/L}$	$\mu\text{g/L}$	$\mu\text{g/L}$	$\mu\text{g/L}$	
伊勢湾	R13	0m	20.3	31.0	39.2	3.0	13.3	55.4	8.6	4.7
		5m	20.5	31.2	17.3	4.6	17.9	39.9	8.8	3.0
		底層	20.5	33.5	23.5	5.3	27.4	56.1	9.2	1.1
	R14	0m	20.0	30.7	13.6	1.9	9.5	25.0	7.1	3.6
		底層	20.8	33.4	25.6	6.1	38.8	70.5	9.9	1.2
	R15	0m	19.6	30.6	20.3	0.9	6.4	27.6	9.0	4.2
底層		21.1	33.6	50.0	9.3	56.6	115.8	14.0	0.9	
R16	0m	20.5	30.4	12.7	6.2	69.3	88.1	10.7	17.0	
	底層	21.4	33.1	42.2	12.5	44.7	99.4	15.9	1.2	
平均		20.1	30.7	21.4	3.0	24.6	49.0	8.8	7.4	
(平年値)	0m	(19.8)	(30.7)	(13.6)	(11.4)	(64.8)	(89.8)	(19.0)	(6.8)	
(前回)		(22.9)	(28.5)	(13.1)	(2.2)	(19.5)	(34.8)	(6.0)	(26.2)	

## 2 知多湾・渥美湾（調査日：11月1、2日）

### （1）現況

知多湾、渥美湾ともに赤潮は確認されませんでした。表層のクロロフィル *a* の平均は知多湾 3.4  $\mu\text{g/L}$ 、渥美湾 8.7  $\mu\text{g/L}$  で、知多湾は平年を下回り、渥美湾は平年並みでした。

表層の平均水温は知多湾 20.2 $^{\circ}\text{C}$ 、渥美湾 19.1 $^{\circ}\text{C}$  で、知多湾、渥美湾ともに平年を上回ったものの、前回に比べて知多湾は 2.0 $^{\circ}\text{C}$ 、渥美湾は 3.0 $^{\circ}\text{C}$  低くなりました。

表層の栄養塩類の平均は、知多湾、渥美湾ともに窒素は平年を下回り、リンは平年並でした。



図2 調査点及び赤潮発生海域

### （2）予測（予測期間：11月上旬～中旬）

〔赤潮〕赤潮が発生する可能性は低いでしょう。

〔栄養塩〕横ばいでしょう。

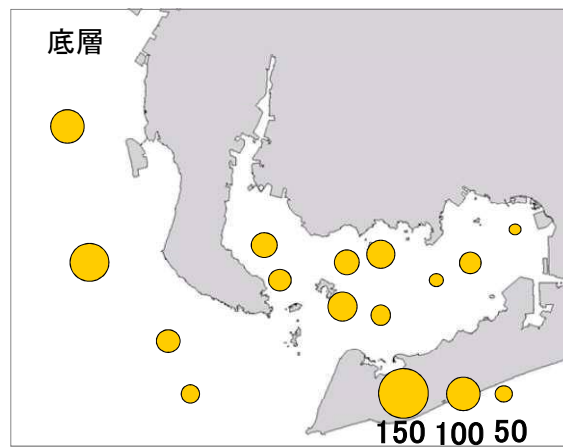
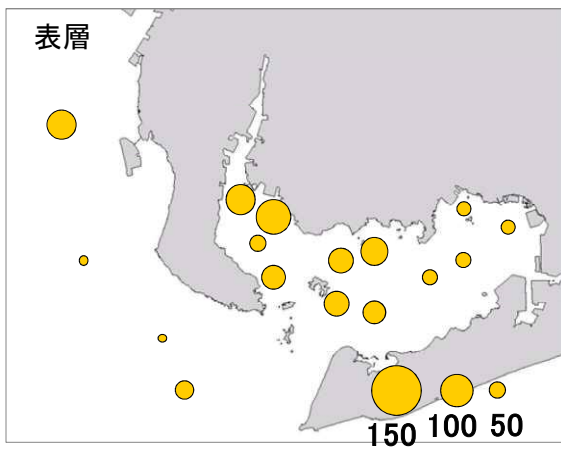
現在、三河湾ではプランクトンが非常に少なく、赤潮が発生する可能性は低いと考えられます。

気象庁によれば、予測期間中に雨が降る予報で、陸域からの栄養の供給が見込まれますが、表層の栄養塩が著しく増加することはないと考えられます。また、底層からの栄養塩の供給も少ないものと考えられます。

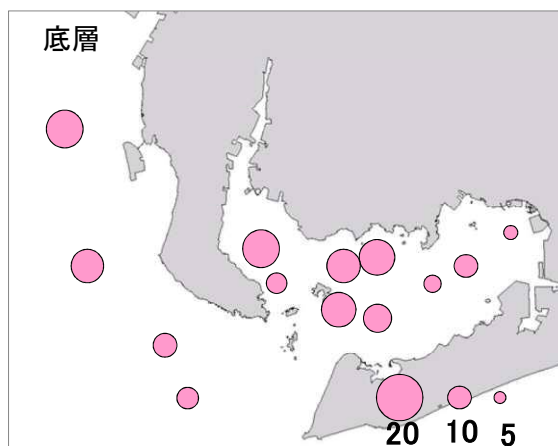
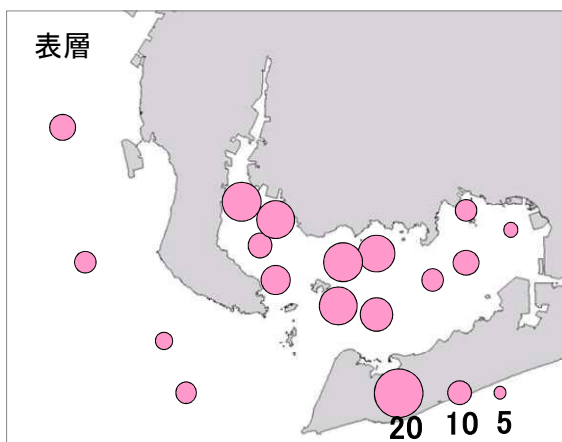
表2 平成30年11月1、2日赤潮調査結果（知多湾・渥美湾）

		採水層	水温 °C	塩分	アンモニア μg/L	亜硝酸 μg/L	硝酸 μg/L	三態窒素 μg/L	リン酸態リン μg/L	クロロフィルa μg/L	
知多湾	R8	0m	20.3	31.7	26.0	7.3	16.7	50.0	10.2	3.8	
		5m	20.3	31.8	37.8	7.3	16.6	61.7	9.7	3.8	
		底層	21.6	32.8	41.7	9.4	24.3	75.4	16.0	2.4	
	R9	0m	20.5	31.1	40.9	7.4	57.1	105.4	15.5	2.3	
		R10	0m	20.5	31.1	48.7	8.8	31.7	89.2	15.9	4.2
			底層	19.4	31.1	38.2	6.9	26.3	71.4	12.3	3.5
R11	0m	19.4	31.1	38.2	6.9	26.3	71.4	12.3	3.5		
	底層	21.6	32.9	39.6	7.7	18.6	65.9	8.9	2.0		
平均 (平年値) (前回)	0m		20.2	31.2	38.5	7.6	33.0	79.0	13.5	3.4	
			(19.7)	(30.4)	(23.1)	(17.8)	(97.1)	(138.0)	(17.3)	(8.6)	
			(22.2)	(28.6)	(24.4)	(9.0)	(48.4)	(81.7)	(6.3)	(21.2)	
渥美湾	R1	0m	18.9	30.4	18.2	3.4	21.0	42.6	8.9	15.5	
		底層	18.4	30.1	22.9	0.6	11.0	34.5	5.9	13.9	
	R2	0m	18.4	29.9	18.1	3.4	19.6	41.1	6.0	14.1	
		底層	18.4	30.1	22.9	0.6	11.0	34.5	5.9	13.9	
			0m	18.8	30.0	26.6	2.1	16.2	44.9	10.4	13.0
	R3	5m	18.8	30.1	32.5	2.0	15.2	49.8	10.0	9.0	
		底層	19.3	30.5	47.7	3.7	13.9	65.3	10.0	3.6	
			0m	19.5	30.7	27.0	4.2	14.7	45.9	9.1	6.0
	R4	0m	19.5	30.7	27.0	4.2	14.7	45.9	9.1	6.0	
		底層	19.5	30.7	25.3	3.6	13.0	41.9	7.5	5.1	
	R5	0m	19.1	30.6	56.0	5.4	22.2	83.6	14.9	5.5	
		底層	19.1	30.6	63.0	4.2	18.4	85.6	15.4	4.7	
	R6	0m	19.8	30.9	48.1	6.8	15.4	70.4	13.7	4.3	
		底層	19.8	31.0	39.7	6.5	14.0	60.3	12.0	4.1	
	R7	0m	18.8	30.8	51.3	4.4	18.2	73.9	15.9	6.2	
		5m	19.0	30.9	57.6	4.5	18.7	80.8	14.7	6.8	
		底層	18.9	30.9	53.5	4.5	17.4	75.3	14.5	5.6	
	R12	0m	19.5	31.1	53.7	5.4	15.8	74.9	15.6	4.7	
5m		19.5	31.1	53.0	5.3	17.0	75.4	15.9	4.4		
底層		20.6	31.7	66.0	5.7	16.2	87.9	14.7	2.6		
平均 (平年値) (前回)	0m		19.1	30.6	37.4	4.4	17.9	59.7	11.8	8.7	
			(18.4)	(29.5)	(35.7)	(17.8)	(69.8)	(123.2)	(13.0)	(7.2)	
			(22.1)	(28.6)	(33.6)	(8.7)	(47.2)	(89.4)	(9.9)	(22.2)	

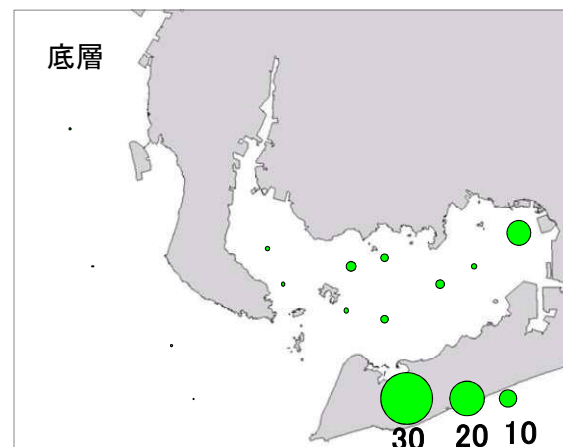
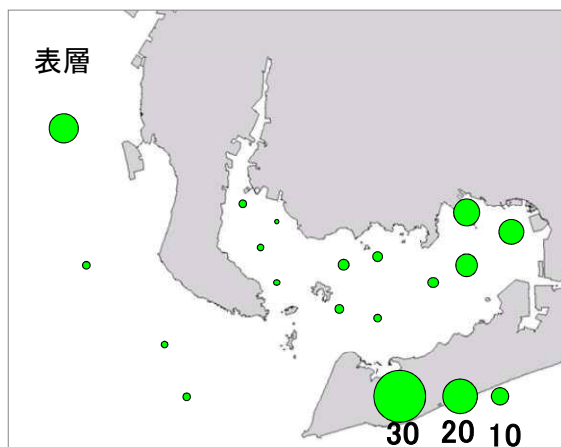
・クロロフィルとは植物プランクトンの色素のことで、相対的なプランクトン量が分かります



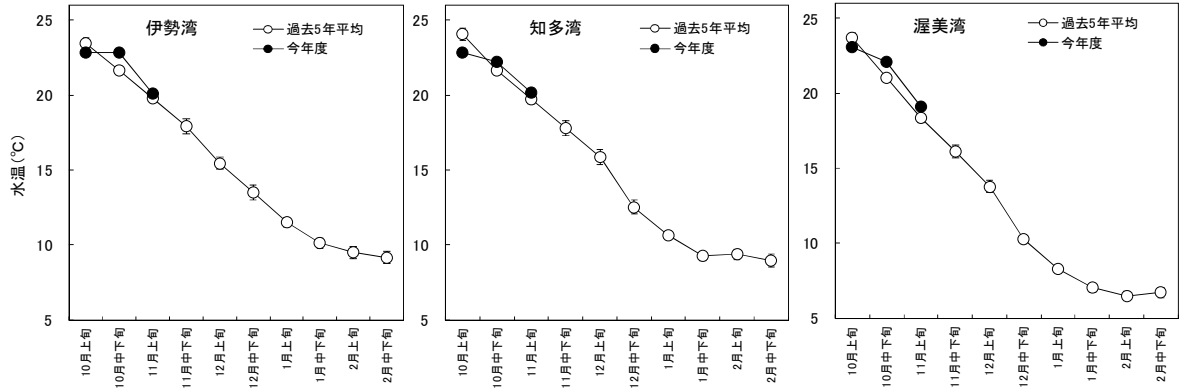
三態窒素の分析結果(μg/L)



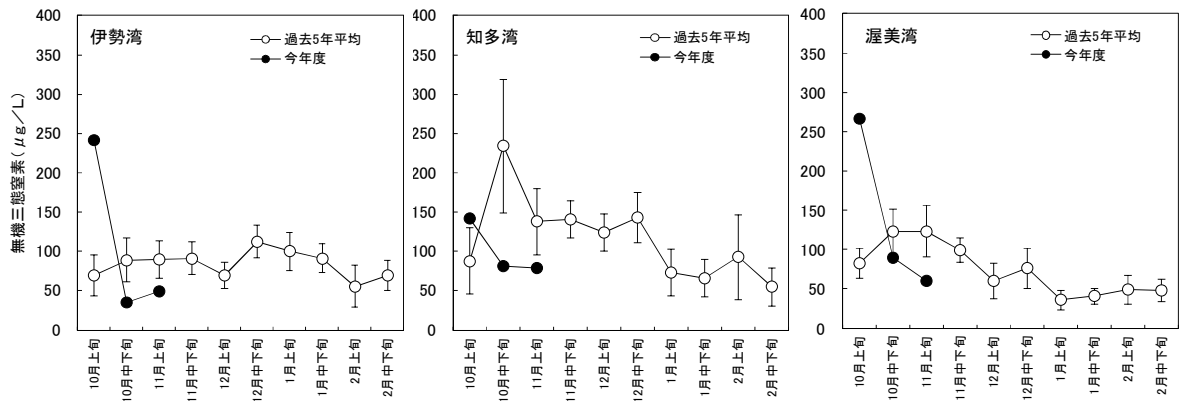
リン酸態リンの分析結果(μg/L)



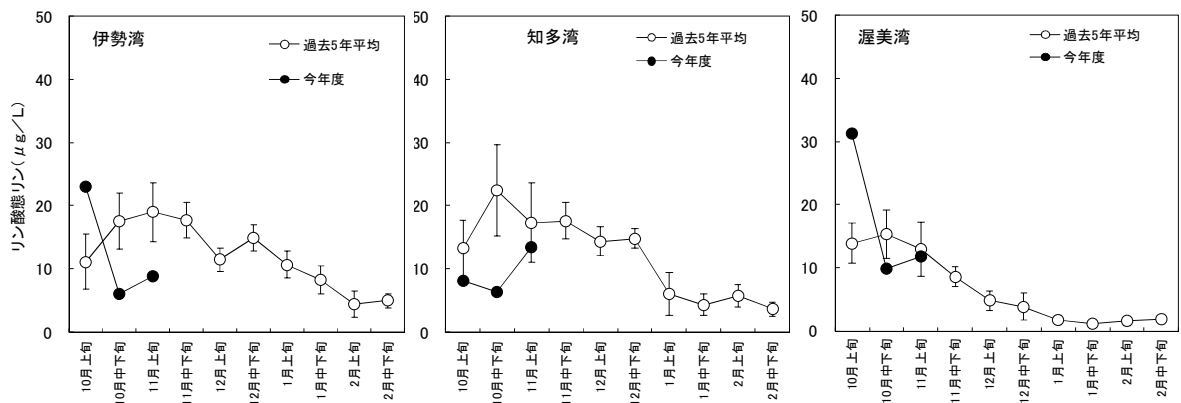
クロロフィルaの分析結果(μg/L)



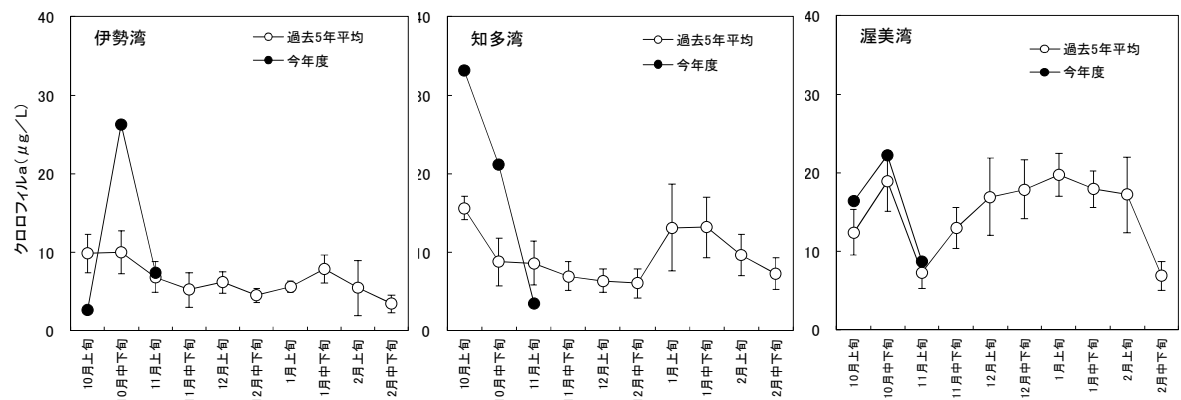
各湾表層の平均水温の推移



各湾表層の三態窒素の推移



各湾表層のリン酸態リンの推移



各湾表層のクロロフィルaの推移

注)各図中の過去5年平均値のバーは、95%信頼区間を示します。